

# 子ども会活動の手引き

子ども会活動を支える  
子ども会育成会員の皆様に向けて  
～子ども会活動を進める上で困った時は～

## 困った時は迷わず相談を

活動していく中で「子どもたちと活動の相談をしていたら、自分の得意なことでない活動をしたいと言われたがどうしよう」「意見が多くなりすぎて収拾がつかなくなった時はどうしたらいいか」「今回の活動は、自分たちが関わるより、もっと近い年齢のお兄さんお姉さんと活動した方がいいかも」など、困ったり、悩んだりすることが出てくることもあるでしょう。

そうした場合のために、子ども会活動を応援してくれる方がたくさんいらっしゃるのです。是非相談をしてください。「相談したいことが分からない」ということもあるかもしれません。そうした時は、岐阜市子ども会育成連合会事務局（電話：214-2240）まで連絡してください。

また、「ちょっと気になる」「〇〇の時はどうしたらいいか。」という時は、過去の問い合わせを参考に作成した主な Q&A を参考にしてください。

目の前の子どもが違うため、対応方法は1つ1つ異なることが多いですが、たくさんお話をすることでいい方法が見つかることが多いです。一人で考え込まずに、思っていることをお話ください。

### (1) 相談先を知りたい

相談内容		問い合わせ先	備考
<b>近い年齢の子と一緒に活動をしたい！</b> (ゲーム、バルーン、クラフトと一緒に楽しみたい！お兄さんお姉さんからゲームなどを学びたい！)	シニアリーダー(大学生等)やジュニアリーダー(中学・高校生)がサポートします。	市子連事務局 ☎214-2240 社会・青少年教育課 ☎214-2264	<ul style="list-style-type: none"> <li>2か月前までに連絡をしてください。1か月前を目安にサポートする人が決まり、担当者に連絡があります。</li> <li>シニアリーダーには交通費や飲料など、ジュニアリーダーには飲料などの配慮をお願いします。</li> </ul>
<b>子どもたちが願う活動を教えて欲しい！</b> (KYT、ラジオ体操などを学んで身に付けたい。先生からゲームなどを学びたい！)	特技を持った先生(特技技能講師)を紹介します。	子ども会事務局 ☎214-2240	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局が講師にアポ取りをします。</li> <li>その後、講師の方と打ち合わせをしてください。(講師料、材料費が必要になります。)</li> </ul>
<b>工作やサイエンス、エンターテイメントの世界を味わいたい！</b> (日頃できない、工作や理科実験、エンタメを体験したい！)	各青少年会館の「子ども会サポートプラン」を提案します。	各青少年会館 ☎232-1721 北青少年会館 ☎239-4011 青山青少年会館 ☎266-0566 中央青少年会館 ☎252-4150 青少年ルーム ☎246-5244 東青少年会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年会館が提供できる様々なプランをもとに打ち合わせをします。</li> <li>プランによって、講師料や材料費が発生するものもあります。</li> </ul>
<b>講座、研修、子ども会活動の進め方を教えて欲しい！</b> (大人対象の研修や講座、子どもの話合いの仕方、ゲームの教え方を指導してほしい！)	地域で行う講座や研修の指導やアドバイスなどに伺います。	市子連事務局 ☎214-2240 社会・青少年教育課 ☎214-2264	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご要望にお応えすべく、打ち合わせをしながら進めます。</li> <li>※インリーダー生への KYT、単位子ども会でのレクリエーション等の指導は行いません。</li> </ul>

※困った時は、市子連事務局（214-2240）まで、お気軽にご相談をください。

## (2) 主な Q&A を知りたい

### Q1：子どもが少ないけど、活動って成り立つの？

A1：大人数には大人数のよさが、少人数には少人数のよさがあります。大人数だと同じ活動でも盛り上がって見えるメリットがある一方、少人数の活動には、一人ひとりの願いが反映されやすいことや、一人ひとりの活動を見届けやすいメリットがあります。ぜひ子どもたちのアイデアを生かした活動を仕組んでみてください。



### Q2：過去の資料を見ているけど、うまくいきそうにありません。

A2：過去の資料と全く同じようにやることは誰でも難しいことです。これまでの活動のよさを生かしつつ、あなたらしさを生かした活動が、子どもたちの幸せにつながります。

### Q3：過去の資料を見ると私だけ仕事が多いけど、仕事を減らすことってできますか？

A3：岐阜市からお願いをしている活動は「子ども会活動」「インリーダー研修会」「集団指導者講習会」の3つです。岐阜市子ども会育成連合会からも、研修大会、岐阜市子ども大会に参加してほしいと依頼をしていますが、仕事に関する大きな取り決めはありません。そのため、その年ごとに仕事内容については見直していかれるとよいと思います。長く続いてきたよさも踏まえながら、時代に合った活動にしていく事をお勧めしています。

### Q4：引継ぎを見ると、インリーダー研修は話合いが難しいってあります。

A4：人それぞれ、得意分野と苦手分野は異なります。集団で話し合う時の司会をする経験はあまりないので、難しく感じる人は多いと思います。そうした時は、市子連事務局(214-2240)に相談をしてください。話合いのファシリテーターの方法のアドバイスや、職員派遣の検討など一緒に進め方を考えさせていただきます。

### Q5：子どもが子ども会活動中にけがをした時はどうしたらいいの？

A5：安全共済会に加入をしている際は、市子連事務局にご連絡をください。第一報報告書の提出など、具体的な手順や方法などについてご説明します。

### Q6：「今日の活動に参加して。見ているだけでいいから。」

#### と言われたけど、それって意味あるのですか？

A6：活動の様子を見ていただくことで、子どもたちの成長を見届ける人が増えること、認めてあげる大人が増えること、緊急時に動ける人が増えること…など、メリットはたくさんです。誘われた時はぜひお子さんと一緒に参加をしてください。また、シニアリーダーなどが進める時は一緒にゲームやクラフト、バルーンアートなどにも参加してみてください。活動スキルの向上につながります。



**Q7：過去の資料を見ているけど、会議の回数がとても多い気がします。減らすことはできますか。**

A7：A3にもありましたが、仕事に関する大きな取り決めはありません。そのため、その年ごとに仕事内容については見直していかれるとよいと思います。長く続いてきたよさも踏まえながら、時代に合った活動にしていく事をお勧めしています。また、市子連でZoomアカウントを取得しているので、利用したい時は市子連事務局（214-2240）までお問い合わせください。

**Q8：インリーダー研修の進め方がよく分かりません。過去の資料を見ても、進め方のイメージが付きません。**

A8：その時は、市子連事務局（214-2240）までお尋ねください。お話を聞きながら一緒に考えさせていただきます。また、地域の会議などにお伺いして一緒に考えることもいたします。また、令和6年度からは、岐阜市教育委員会が主催する研修も行います。基礎的な研修ですが、よろしければご参加ください。

**Q9：シニアリーダーやジュニアリーダーはどんなことをしてくれるのですか？**

A9：令和5年度の実績では、レクリエーションやバルーンアート、クラフト制作の指導のサポートを行いました。学生ボランティアのため、あくまでもサポートにはなりますが、依頼された方から、「シニアリーダーから打合せの連絡がありました。不安なこともありましたが、シニアリーダーにお話をし打合せをさせてもらったことで、私たちが願う活動にすることができた。」というお話も聞いております。



打合せや相談を重ねることで活動のイメージが明確になっていきます。地域で活動を相談している時に、悩み事などが出てきましたら、市子連事務局（214-2240）までご相談をいただくとよいかと思えます。

**Q10：社会・青少年教育課の職員って誰ですか？また、社会・青少年教育課の職員が来てもらうとどんなことをしてもらえますか？**

A10：岐阜市教育委員会の社会・青少年教育課に所属している職員のことです。子ども会の担当をしている職員や、子ども会事務局を担当している社会教育指導員、各青少年会館で市民会議等地域の青少年の健全育成に携わっている社会教育指導員です。令和5年度は、集団指導者講習会での指導や、インリーダー研修でのあいさつ、子どもたちがレクリエーション指導をできるようにするための指導・援助、インリーダー研修の計画、子ども会の活動報告のお手伝いや egg の取材などを行いました。



**Q11：子ども会に加入をしたい時は、どこに聞くといいの？**

A11：まずは、近くで子ども会に加入をしている人に尋ねてみてください。ご連絡をする先が分かると思います。また、市子連事務局（214-2240）にお問い合わせいただくと、その地域の方をご紹介します。

※その際はお時間をいただくこと、ご連絡先をお聞きすることをご承知おきください。